事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 2021年 2月6日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」戸田校

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	個室でないため、音が漏れやすいのでブース内の位 置などを変えたりして配慮している。
体	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	現在は最低限の人数がそろっている。
制整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか	0	2	3	階段や段差があるので、声掛けなどをして安全に配 慮している。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	5	0	0	できるだけ話し合いの場を設けて、次の支援に活かしている。
業	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	5	0	0	保護者等が話しやすいような環境づくりに努めてい る。
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか	5	0	0	年に一度実施しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	2	1	2	現在は利用者、社内、財団法人発達支援研究 所の3者評価となっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確 保しているか	3	2	0	内部、外部共に研修の機会は設けられています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	5	0	0	6ヶ月に一回は保護者に聞き取りを行うとともに指導員からも意見を聞き作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	事業所共通のツールを活用している。
適	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	共通理解が必要なこともあるため、随時相談しなが ら行っている。
切か	12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	全体で話し合いながら行っている。
な支援	(3)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	
の提供	(4)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	3	2	0	基本的には 1 対 1 での実施だが、お子様の状況に応じて集団も行っている。
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	5	0	0	朝礼を行い、確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	5	0	0	その日に行えない場合には、次の支援までに行うように留意して情報共有を行っている。

	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎回、支援記録の記載を行い情報共有をして、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	最低でも半年に一回行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	3	2	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	5	0	0	事前に情報把握に努め、できるだけふさわしい人物 が対応するようにしている。
関係機関	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	0	直接学校との情報共有はできていないが、相談支援事業所や他事業所、保護者からの情報は得るようにしている。
や保証	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	5	現在医療的ケアを必要とするお子さんが通所していない。
護者との	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか	3	2	0	必要な情報については、関係機関と連携できるよう に努めている。
連携関	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	5	該当するお子様がいない。
係機関	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	3	2	現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく。
や保護	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	事業所以外での交流が現在のところない。
護者と	2	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	0	年に一度行われる地域での協議会に参加している。
の連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	5	0	0	毎回のFB時や相談のあった際に、共通理解でき るよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか	3	1	1	フィードバック時、都度質問に対し必要な助言を行っている。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時や変更のあった際、適宜行っている。
者への	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	毎回のFB時や、随時相談があった際に、周りの 状況に応じて配慮しながらで対応を行っている。
説明責任等	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	現在実施できていないが、今後取り組めるよう動いていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	教室内で窓口を設定したり、苦情があった場合は 丁寧に対応できるように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	5	0	0	教室内にチラシを掲示したり、ラインなどのツールを 活用してお知らせしている。
	35)	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	鍵のかかかるロッカーにしまい、ほかの方の目に触れることがないよう対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	5	0	0	そのお子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行っている。
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5	現在、地域住民の参加はおこなっていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	5	0	0	マニュアルは策定しているが、保護者への周知は行っていない。
非	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	5	0	0	
常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	5	0	0	
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	契約時に説明を行っているが、支援計画書に記載はしていないため、今後は支援計画書にも記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	0	0	5	現在、食事提供を行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか	5	0	0	ヒヤリハット用のファイルを作成し、職員全員で共有 している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 2021年 2月 6日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」戸田 校 保護者等数(児童数):38 回収数:33 割合:86.8 %

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	28	1	4	
体	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	0	0	専門性が高く、十分な人数で信頼しています。
制整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか	7	7		歩行が難しいため、エレベータがありましたら助かります。 特に必要なところもないと思う。
適切な	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 が作成されているか	30	2	1	支援の都度、お話しくださいます。
支援	(5)	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている か	29	4	0	学校の宿題のフォローをして頂いたり、日によってプロ グラムを変えていただいています。
の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	10	23	必要としていない。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	33	0	0	良く見てくださいます。 毎回、プログラムで出来たことや出来なかったことを教 えていただいています。
保	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	2	0	相談しやすい雰囲気で、こちらが疑問を投げかけると 丁寧に答えていただいています。
護者への	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	1	12	20	分からないし、参加予定はない。
の説明等	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	8	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	30	3	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	12	5	

	14)	個人情報に十分注意しているか	31	2	0	
 非 常 時	(15)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか	31	2	0	
等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	13	7	
	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	30	3	0	とても楽しみに通わせて頂いております。 親子でとても楽しみにしている。
第三	18	事業所の支援に満足しているか	30	3		学校で国語や算数などの勉強をそれほどしていないので、こちらで進めてもらってます。勉強が嫌いにならないように、子どものペースに合わせて学習支援をしていただいており感謝しています。 毎回、子のことをきちんと聞いていただいている。 子が毎週笑顔で、こちらもうれしい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。